



FRONTEO

FRONTEO通信

2024年3月期 事業報告

2023年4月1日～2024年3月31日

- トップメッセージ
- 事業ハイライト
- 業績ハイライト

株式会社FRONTEO

証券コード：2158

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当社グループは、自社開発の特化型AI「KIBIT（キビット）」の提供を通じて、日夜、社会課題と向き合う各分野の専門家の判断を支援し、イノベーションの起点を創造することで、社会のさまざまな場面で必要かつ適切な情報に出会えるフェア（fair）な世界の実現を目指しています。FRONTEO独自の自然言語処理技術（日米特許取得）は、汎用型AIとは異なり、教師データの量およびコンピューティングパワーに依存することなく、高速かつ高精度での解析を可能にします。加えて、解析した情報をマップ化（構造を可視化）する特許技術を活用することで、「KIBIT」が専門家のインサイトにダイレクトに働きかけることができ、近年、KIBITの技術が創業の仮説生成や標的探索にも生かされています。

2023年度は、グループ全体の戦略の中で注力事業への経営資源の投入に取り組んだ結果、AIソリューション事業の売上高は期初予想を上回るペースで好調に推移し、前期比51%増加しました。一方で、リーガルテックAI事業は回復基調に転換したものの期初予想を下回り、全社売上高は微増に留まりました。また、営業利益は、全社的な定常的コストの最適化と収益性の高いAIソリューション事業が伸長した結果大幅な改善が見られ、EBITDAベースでは黒字に転換しました。なお、米国ビジネスに関連するのれん等の減損による特別損失を計上しましたが、本損失は一過性のものであり、キャッシュフローには影響せず、2024年度以降はのれん等の償却負担が減少するなど財務的な好影響もあり、注力事業においてより積極的な戦略を展開できると考えています。しかし、2期連続赤字という結果を重く受け止め、引き続きコスト最適化を徹底するとともに、AIソリューション事業に重点的に経営資源を投入し、グループ全体の成長を推進してまいります。



2023年度の事業概略として、AIソリューション事業のライフサイエンスAI分野では、7月に特化型AI「KIBIT」を活用した創業支援ビジネスを立ち上げました。その革新性・有用性が注目され、多くの製薬企業から問い合わせを受け、複数の受注を獲得しています。AI医療機器領域については、2月に塩野義製薬と戦略的業務提携契約を締結し、この分野の中長期的な収益基盤を構築しました。ビジネスインテリジェンス分野では、10月に三菱UFJ銀行にKIBIT製品が導入されるなど当社製品の市場プレゼンスが向上し、同分野におけるリカーリング収益が拡大を示しています。経済安全保障分野では、三菱電機をはじめ複数の大手企業に「KIBIT」が導入され、官公庁においても複数の案件を獲得しました。その結果、売上高は前期比約8倍、リカーリング比率も3割超に成長しました。リーガルテックAI事業では、企業の法務担当者を対象に最新かつ有益な情報を発信するポータルサイトや勉強会、ウェビナーなどの運営により、顧客基盤を構築・強化しています。

当社グループは、これからも経営基盤の更なる改革と中長期的戦略に沿った最適な資源配分を実行し、持続的な成長を目指してまいります。株主の皆様には、進化する当社グループにご期待頂くとともに、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 FRONTEO
代表取締役社長

宇田 浩

FRONTEOは特化型AI「KIBIT」の提供を通じて、 日夜社会課題と向き合う各分野の専門家の判断を支援します

なぜ自然言語処理なのか？

- 各分野の専門家はその業務において、メールや日報、論文、会話など多様な形態の自然言語情報より分析や判断を行っています。FRONTEOは、独自の自然言語処理技術によりエキスパートの業務を支援します。

KIBITを活用した支援方法

- AIがエキスパートの右腕として、課題解決へのヒントを見つけ出せれば、エキスパートは社会課題を解決し、社会をより良いものへと導くことができます。自社開発の特化型AI「KIBIT」は、当社独自の自然言語処理技術（日米特許取得）により汎用型AIとは異なり、教師データの量およびコンピューティングパワーに依存することなく、高速かつ高精度での解析を可能にします。加えて、解析した情報をマップ化（構造を可視化）する特許技術を活用することで、「KIBIT」が専門家のインサイトにダイレクトに働きかけることができ、近年、KIBITの技術が創業の仮説生成や標的探索にも生かされています。

豊富な社会実装経験

- AIは、その恩恵を社会や事業が十分に受けて初めて価値を持ちます。「KIBIT」はこれまで官公庁や大手企業・金融機関、研究機関でも導入され、FRONTEOはその運用に伴走してきました。当社はエキスパートと「KIBIT」の協働を通して課題解決に貢献し、AIの社会実装を推し進めていきます。



LLMなど自然言語処理の課題を解決する
独自技術について、米国での特許査定を取得

特化型AI「KIBIT」による自然言語処理において、分散表現*¹における特定のコーパス*²の特性や構造を維持したまま複数のコーパスを融合させる技術

- 課題
- 専門分野に特化した限定的なデータからコーパスや特徴量を作成すると言語のカバー率が低くなる
 - LLM (大規模言語モデル) などの幅広いデータからコーパスや特徴量を作成すると、専門分野への特化が難しくなる



本技術で現在抱えている自然言語処理の課題を解決
例えば、医学薬学と栄養学の論文を融合したコーパスを解析し、研究者は新しいつながりを発見

* 1 単語や文章の意味を次元数の低いベクトルに変換して表す方法
* 2 自然言語研究・解析のために文章や用法を集積・構造化した大規模データベース

特化型AI「KIBIT」を活用し、創薬研究の加速化・効率化・成功確率向上、医療の質向上・効率化、医療従事者の負担軽減・業務改善、患者のQOL向上などに貢献できるよう、さまざまな製品・サービスを研究開発・提供しています。

AI創薬

Springer Natureとの協業で、AI創薬 (Drug Discovery AI Factory) の機能を強化

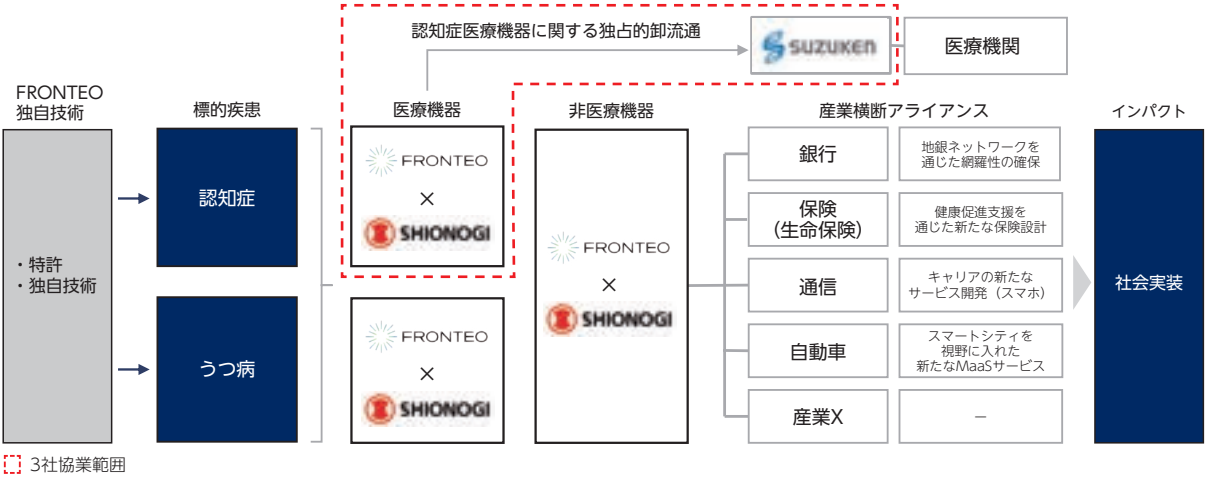


Springer Natureのジャーナルを解析し、
新規性の高い標的分子や適応症等とその仮説を提案

- ・ より多くの関係性 (例：遺伝子－疾患) を抽出
- ・ より大きなコーパスを獲得
- ・ 複数の領域にまたがる解析が可能

AI医療機器

3社の強みを活かした協業スキームにより、認知症AI医療機器の社会実装へ向けて、
より最適な医療機器開発～卸流通体制を確立



AIエンジン「KIBIT」がプロフェッショナルの暗黙知を再現

KiBi+ Eye

メール・LINE WORKS・テキスト化済み音声データなどのテキストについて、類似性や文脈を捉えて特徴量をスコアリングするメール&チャット監査AIシステム

KiBi+ WordSonar
for VoiceView

テキスト化済み音声データやメール等の膨大な“お客様の声”に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないAIソリューション

KiBi+ WordSonar
for AccidentView

製造業や建設業の現場での事故・災害発生を予測し、危険予知活動に貢献するAIシステム

KiBi+ 零

独自のアルゴリズムで関連性の高い回答を提示し、企業の技能伝承を支援する、RAG機能を搭載したAIシステム

KiBi+ Knowledge Probe

膨大なテキストデータの中から見つけたい情報を仕分け・抽出し、ビジネス機会の創出、リスク回避を支援するビジネスデータ分析支援AIシステム

「三菱UFJ信託銀行、AIソリューション「KIBIT Eye」を導入リスク検知高度化に寄与」
(2024年4月23日付プレスリリース)

株式会社FRONTEO(本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下 FRONTEO)は、自社開発の特化型AI「KIBIT(キビット)」を搭載した不正リスクを予見するAIソリューション「KIBIT Eye(キビットアイ)」(<https://kibit.fronteo.com/products/kibit-eye/>)が、三菱UFJ信託銀行株式会社(以下 三菱UFJ信託銀行)において、コンプライアンス強化に向けて、4月より導入されたことをお知らせします。



グローバルな情勢と経済環境が大きく変化する中、経済安全保障に関するリスクとチャンスを見逃さないAIソリューション

官公庁複数機関に対する「KIBIT Seizu Analysis」導入
FRONTEOの独自性・実績・優位性を評価

解析テーマ①

通信業等への外国為替及び外国貿易法に基づく対内直接投資における外国投資家の影響力等に係る調査研究

解析テーマ②

企業の株主支配ネットワーク解析及びサプライチェーンネットワーク解析を用いた特定企業の影響力の把握

解析テーマ③

日本政府が守るべき技術を保有する国内企業のサプライチェーン解析と株主支配解析を併用したリスク監視

官公庁からの
評価ポイント

独自性

8件の自社特許技術を活用した独自の探索アルゴリズムとオープンソースを活用した網羅的なデータ基盤

サービスの
優位性

人手では困難な深度まで客観的なデータを元に取引関係を解析可能
専門人材による政策的課題に沿った解析結果のレポート

実績

官公庁での実績評価を起点とした、他の官公庁および大手民間企業へのサービス展開

※その他複数のインテリジェンス機関による実績あり

リーガルテックAI

国内デジタルフォレンジック売上高トップ。外部調査委員会・国際訴訟事案の迅速な証拠探索に貢献
強固な顧客基盤構築に向けたFLLP*、勉強会・ウェビナー等の活動を推進中

*FLLP: FRONTEO Legal Link Portal。法律専門家の活躍機会の提供・企業の法的競争力の強化を支えるプラットフォーム

セミナー・勉強会の開催



FRONTEO
潜在顧客との関係深化



法律事務所
潜在顧客との接触

ポータルサイトの運営**

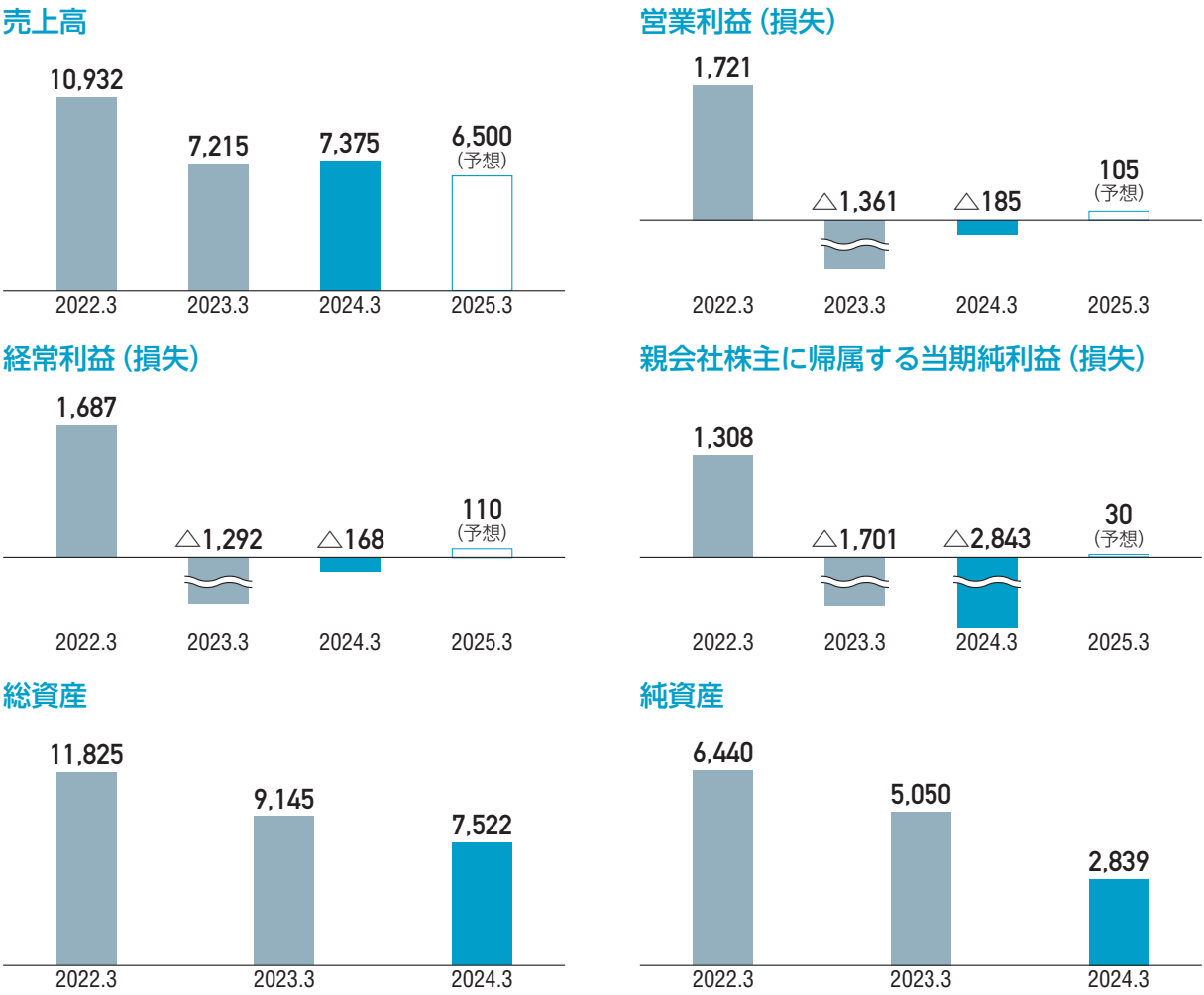
FLLP: 登録会員数 15,537人

日米等の弁護士による解説動画掲載

登壇弁護士数 307人
視聴可能動画数 815本

**2024年3月31日現在

連結業績ハイライト (単位：百万円)



IRサイトで
さらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料などさらに詳しい決算情報をご覧になれます
<https://www.fronteo.com/ir/>

FRONTEO IR



会社情報 / 株式情報

会社概要 (2024年3月31日現在)

商 号	株式会社FRONTEO (FRONTEO, Inc.)
証券コード	2158
設 立	2003年8月
資 本 金	3,048,772千円
本社所在地	東京都港区港南二丁目12番23号
従 業 員 数	225名

役 員 (2024年6月27日時点)

代表取締役社長CEO	守本 正宏
取締役	山本 麻理
取締役	豊柴 博義
取締役 ^{*1}	舟橋 信
取締役 ^{*1}	桐澤 寛興
取締役 ^{*1}	永山 妙子
取締役 ^{*1}	鳥居 正男
常勤監査役 ^{*2}	須藤 邦博
監査役 ^{*2}	安本 隆晴
監査役 ^{*2}	大久保 圭

※1 社外取締役 ※2 社外監査役

株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	39,355,862株
株主数	31,148名

大株主 (2024年3月31日現在)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
守本 正宏	6,785,900	17.24
株式会社フォーカスシステムズ	3,637,420	9.24
池上 成朝	2,700,300	6.86
楽天証券株式会社	595,000	1.51
株式会社SBI証券	556,000	1.41
株式会社学研ホールディングス	391,600	0.99
松井証券株式会社	269,000	0.68
auカブコム証券株式会社	196,715	0.49
JPモルガン証券株式会社	188,700	0.47
堀田 高志	158,900	0.40

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所グロース市場
株式の売買単位	100株
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 そのほか必要がある場合は、あらかじめ公示いたします。
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL : https://www.fronteo.com/ir/stock/notification/ やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同 連 絡 先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
各種事務手続き	詳しくは、こちらのページからご確認ください。 https://www.tr.mufg.jp/daikou/